

第 4 次府中市生涯学習推進計画策定に係るアンケート調査実施概要（案）

1. アンケート調査の目的

府中市では、平成 11 年度に「第 1 次計画」を策定し、市全体を大学に見立て生涯学習を推進してきました。その後、平成 21 年度に「第 2 次計画」を策定し、ライフステージごとの学びを重要視するとともに、これまでの「学ぶ」だけの姿勢から、学習した内容を地域にいかす「学び返し」（審議会提言）の考えが計画に盛り込まれました。現計画の「第 3 次計画」では、総合計画に掲げる「市民協働（の地域づくり）」を強化し、「学び返し」のより一層の実現を目指して、生涯学習サポーターや生涯学習ファシリテーターの養成など、様々な施策に取り組んできました。

このような経緯を踏まえ「第 4 次府中市生涯学習推進計画」の策定に当たり、時代に対応した府中市らしい新たな計画策定のための基礎資料とするためのアンケートを実施します。

具体的には、18 歳以上の市民を対象とし、生涯学習に対する一般の市民や施設利用者の意識を把握するための「市民アンケート調査」を実施します。

また、主に本市に関わりのある学生・若者を対象とし、個別の意見聴取が難しい若い世代の生涯にわたる学びに対する意識や、地域（市）との関わりの実態を把握するための「若者 WEB アンケート調査」を実施します。

2. アンケートの種類と実施概要

①市民アンケート調査（無作為抽出による調査）

調査対象：市内在住 18 歳以上の男女 3,000 人（郵送による配布・回収）

調査方法：郵送・WEB 調査（選択式）

○母集団（市内在住 18 歳以上：約 22.4 万人※1）の中から、対象者を無作為に 3,000 人抽出します。生涯学習活動をしている人・していない人、様々な年代・性別の方が対象となります。郵送により配布・回収（WEB 併用）します。

○アンケート結果については、単純集計と回答者の属性ごとにクロス集計を行い、性別や世代、居住地域などの属性ごとに市民ニーズを把握します。また、施設利用の設問を設け、利用者のニーズも把握します。

②若者 WEB アンケート調査【補足として実施】

調査対象：市内都立学校に通う生徒（特別支援学校含む）、連携協定を結ぶ高等学校、大学の学生（明星高等学校、東京外国語大学、東京農工大学）、プラッツの府中学生若者ネットワーク参加者

調査方法：WEB 調査（メーリングリスト、二次元コード付きチラシの配布など）

○府中市に在住・在学の若者（高校生～大学生）のうち、連携機関や市のネットワークを通じて依頼可能な学校等を対象に実施します。具体的には、今後の活動につながる層である、市内の都立学校に通学する高校生、市内特別支援学校高等部に通う高校生、連携協定校に在籍する高校生・大学生、プラッツの若者ネットワークに参加する若者を想定しています。

○生涯学習活動や地域活動への参加経験が少ない層も含め、多様な若者の学びの現状やニーズ、地域との関わりの実態を把握します。

※1 R7/7/1 現在 18 歳以上市民の総数

3. 調査期間

①市民アンケート調査

令和7年10月初旬～10月中下旬（回答期間3週間程度を想定）

②若者WEBアンケート調査

令和7年10月初旬～10月中下旬（回答期間2～3週間程度を想定）

4. アンケート調査票の項目

①市民アンケート調査（3つの視点）

1) [経年比較・効果検証] 市民の意識の経年変化や施策の効果を捉える項目

…主に指標等に利用する前回のアンケート調査項目等を引き続き設定し、生涯学習の活動機会や取組内容などに関する市民ニーズや、学び返しの認知度などの経年変化を把握します。

2) [時代変化] 時代の変化に対応した新たな項目

…リスキリング、ウェルビーイング、デジタル化など新しい概念や新しい技術の活用による多様化する学びの環境など、時代の変化や社会的な意識に関する市民の意識を把握します。

3) [政策・地域状況] 市の政策・地域状況を踏まえた項目

…今後の政策実現にいかすための設問を設定するとともに、市民協働の推進や学校との連携、新たな生涯学習センターに関する内容等について、市民の意向を把握します。

※加えて、前回のグループワークや審議会の意見を受けて選択肢や設問を追加しています。

②若者WEBアンケート調査（2つの視点）

1) [学び] 若い世代の視点での学び

…本聴取は初めての実施となるため、自由度を持って設問を設定します。例えば、「今学んでみたい・挑戦してみたいこと」「それを実現する上での課題」「参加しやすくなるアイデア」などの問を通じ、若者のニーズや現状を把握します。

2) [地域との関わり] 地域交流や地域資源

…地域づくりを進める上で、若い世代が地域（府中市）に関わりやすい環境を整えることが重要です。例えば、「地域イベントへの参加経験」、「地域の方から学んでみたいことや聞いてみたいこと」、「地域への貢献や協力に関するアイデア」等について聴取を行い、若い世代が地域と関わるきっかけや意識を把握します（啓発の視点も含む。）。

5. アンケートの回収率向上に向けて

①市民アンケート調査

- ・前回調査 10P 問 29 に対し、WEB での回答がしやすいよう、可能な範囲でシンプル化を図ります。
- ・回収率を上げるため、封筒への工夫を行います（期日記載・現況記載）。
- ・中間で督促状兼お礼状の葉書を送付します。

②若者WEBアンケート調査

- ・学校経由でお願いする場合、学校の時間内で回答にご協力いただけないか依頼を検討します。
- ・プラッツ経由でお願いする場合は、できる限り、声掛けによりご協力いただくよう依頼します。

6. 市民アンケート調査内容の項目（案）

経年比較の観点から、前回市民アンケートを基に問を取捨選択・追加し、今後調査票を作成しました。以下は項目の案です。

○前提として、記述式を減らし、シンプル化を図る（WEB回答のしやすさ）。

| 調査内容 | | 経年 変化 | 時代 変化 | 政策・ 地域 |
|-------------------------|--|----------|----------|-----------|
| 生涯学習の現状について | | | | |
| 問1 | どのような「生涯学習」をしたことがあるか *選択肢を追加修正（リスクリングなど） | | ○ | |
| 問2 | 【生涯学習をした人のみ】どのような方法で「生涯学習」をしたか | | | |
| 問3 | 【生涯学習をした人のみ】「生涯学習」を通じて身につけた知識・技能や経験を、どのようにいかしているか | | | |
| 問4 | 【生涯学習をした人のみ】「生涯学習」を行う中でよく利用する市の施設 | | | |
| 新問5 | 【生涯学習をした人のみ】現在グループで学習・活動をする組織に参加しているか | | | |
| | 【問5で参加している人のみ】それはどのような組織か | | | |
| 問6 | 【生涯学習をしていない人のみ】「生涯学習」をしていない理由 | | | |
| 問7 | 市の「生涯学習」に関する情報を、どのように得ているか *GWより選択肢を追加修正（ボランティアによる情報誌） | ○ | ○ | |
| 府中市の生涯学習の施策等について | | | | |
| 問8 | 今後、市のどんな生涯学習活動に参加したいか | | | |
| 新問9 | 【問8で具体回答した人のみ】どのような場所で参加したいか | | | |
| 新問10 | 新たな生涯学習センターに望むこと | | ○ | ○ |
| 新問11 | 11の文化センターについて利用したことがある施設 | | | ○ |
| 新問12 | 文化センターについて生涯学習の面で充実してほしい機能・利用したいサービス | | | ○ |
| 新問13 | 生涯学習の拠点としての図書館について充実してほしい機能・サービス *審議会意見より追加 | | ○ | |
| 問14 | 今後、市民の生涯学習活動をもっと盛んにしていくために、充実してほしいサービス *GW等から選択肢を追加修正（オンラインの話、企業大学連携） | | ○ | |
| 問15 | 市の「生涯学習」に関する情報で望むもの | | | |
| 問16 | 市の「生涯学習」の情報提供の手段で、力を入れるべきもの *GWより選択肢を追加修正（ボランティアによる情報誌） | | | |
| 生涯学習の成果について | | | | |
| 問17 | 学び返しをしたことがあるか | | | |
| 問18 | 〈問17で「したことがある」人のみ〉どのような「学び返し」をしているか（自由記述） | | | |

| 調査内容 | | 経年 変化 | 時代 変化 | 政策・ 地域 |
|------------------|---|----------|----------|-----------|
| 問 19 | 生涯学習を通じて身につけた知識・技能や経験を、自分以外の ためにいかしたいか | | | |
| 問 20 | 【問 19 で「いかしたいと思う」人のみ】それをどのようにいか したいか | | | |
| 問 21 | 【問 19 で「いかしたいと思う」人のみ】生涯学習を通じて身に つけた知識・技能や経験を、自分以外のためにいかすには、ど のようなことが必要か | | | |
| 問 22 | 【問 19 で「いかしたいと思わない」と回答した人のみ】いかし たいと思わない理由 | | | |
| 新問 23 | ウェルビーイングの問（学びが深まることに幸せとを感じるか、 地域で人と関わることに充足感を感じるかなど） | | ○ | |
| 市民協働を通じた生涯学習について | | | | |
| 問 24 | 「生涯学習サポーター」を知っているか。また、登録したいか | | | |
| 新問 25 | 「生涯学習ファシリテーター・サポーター養成講座」を知って いるか。また受講したいか ＊GWから設問の追加（ファシリテーターの周知） | | | ○ |
| 新問 26 | お住まいの地区に、学校と地域が協働・連携する活動があった 場合、参加したいか | | ○ | ○ |
| 新問 27 | 市民協働を通じて、府中市やお住まいの地域がどのような姿に なったら良いか | | | ○ |
| 属性 | | | | |
| 属性 | 性別、年代、職業、住まい | | | |
| 自由意見 | | | | |

7. 若者WEBアンケート調査内容の項目（案）

若者WEBアンケートは主として、今後の活動につながる層である学生（内容を加味して高校生ぐらいから）や大学生などの若い世代を対象として実施するものです。

○10問程度のシンプルでわかりやすい設問で設計（高校生は学校の時間で回答いただくことを想定）

| 調査内容 | |
|-----------|---|
| 学びについて | |
| 問1 | 学校の授業以外で取り組んでいること |
| 問2 | 〈問1で「ある」方〉どのようなことか |
| 問3 | 〈問1で「ある」方〉頻度について |
| 問4 | 〈問1で「ない」方〉取り組んでいない理由 |
| 問5 | 学校内外問わず、学んでいること等を、将来仕事や社会にいかしたいと思うか |
| 問6 | 社会（政治や経済、環境、産業、多様性、地域課題など）のことについて、もっと知ったり関わっていくために、どんな機会があればよいか |
| 問7 | これから学んでみたい・取り組んでみたいことはあるか |
| 問8 | 〈問7で「ある」方〉どこで学びたいか |
| 問9 | 〈問8で「府中市内」の方〉具体的な施設 |
| 地域のことについて | |
| 問10 | 府中市の行事やイベント、ボランティア活動などに参加したことはあるか |
| 問11 | 今後、府中市の人から何かを教わったり、共に取り組んでみたいことはあるか |
| 問12 | 府中市は何かを学んだり・参加したりするのに、取り組みやすい市だと思うか |
| 問13 | 若い世代が生涯にわたる学びを行うための課題・実現のアイデア（自由記述） |
| 属性 | |
| 属性 | 性別、所属・年代、住まい（市内・市外） |